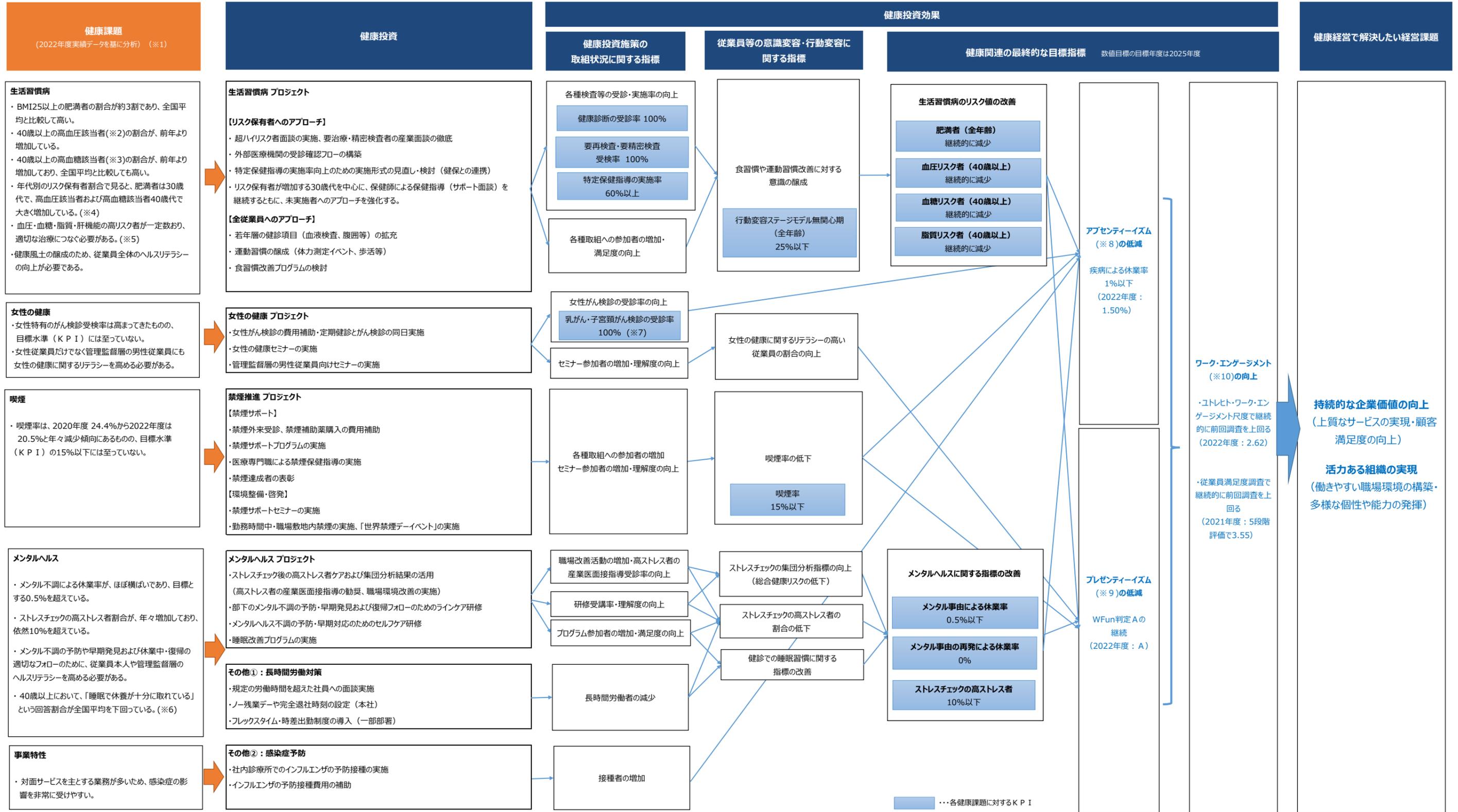


阪急電鉄 健康経営戦略マップ (2024年度)



(※1) 全国平均値の出自：(肥満)国民健康・栄養調査、(血糖・睡眠)健保連データ
 (※2) 「高血圧該当者」：健診時の血圧が収縮期140mmHg以上、拡張期90mmHg以上の者、2022年度 20.9%(対前年+3.9%/40歳以上)
 (※3) 「高血糖該当者」：健診時の空腹時血糖が110mg/dl以上、HbA1c 6.0以上の者、2022年度 18.3%(対前年+0.4%/40歳以上)
 (※4) 肥満：20歳代18.6%→30歳代27.7%(約1.5倍)、高血圧該当者：30歳代5.2%→40歳代14.1%(約2.7倍)、高血糖該当者：30歳代2.6%→40歳代8.9%(約3.4倍)
 (※5) 「高リスク者」：血圧 収縮期180mmHg以上or拡張期110mmHg以上、血糖 空腹時血糖140mg/dl以上or HbA1c 8.0以上、脂質：中性脂肪500mg/dl以上or LDL 180mg/dl以上、肝機能：AST 51以上or ALT51以上or yGTP101以上、高リスク者合計619人(延べ)
 (※6) 「睡眠で休養が十分に取れている」に「はい」と回答した者の割合：当社 56.5%、全国平均 64.9% (いずれも40歳以上)

(※7)子宮頸がんは20歳以上、乳がんは36歳以上の各従業員の2年間の受診率で算定

(※8)心身の体調不良が原因で、遅刻や早退・欠勤など業務が行えない状態にあること
 (※9)心身の健康上の問題が作用して、出勤時の生産性が低下している状態にあること
 (※10)仕事に対するやりがいや貢献意欲、従業員満足度調査については隔年実施